

KHR シリーズ組立時のご注意

ケースビスの締め付けについて

平素より弊社製品をお引き立て下さいまして誠にありがとうございます。
タイトルの件につきまして KHR-1 および KHR-2HV の KHR シリーズを
お買い上げ、またはお買い上げ予定のお客様にお知らせ致します。

KHR シリーズの組立では、右図のように「ケースビス」でフレームやブラケットをサーボモーターに固定する工程がございますが、締め付けが、強すぎると下記のような障害が発生する場合がございます。

- 1、サーボモーターに負荷がかかってしまい、動作が渋くなり、本来の性能が発揮できなくなるばかりか、内部部品の破損に至る場合があります。
- 2、「ケースビス」がせん断して（折れて）しまう場合があります。

対策といたしましては下記の内容を実行して頂きますようお願い致します。

- 1、「ケースビス」でサーボモーターにフレームやブラケットを固定する際には、ビスの締め付けはガタなく止まる程度に留めて下さい。
- 2、「ケースビス」の締め付けには電動ドリルドライバー等は、なるべくご使用にならないで下さい。ご使用になる場合にはクラッチ付きのを選び、クラッチ動作トルクは 約 $0.1\text{N}\cdot\text{m}$ ($1\text{kgf}\cdot\text{cm}$) に設定して下さい。

